

患者さんへ

「腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術難渋症例の予測因子についての考察」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることができる場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を提示して適切な同意を得ること、それが困難な場合には、その情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2021年4月から2028年12月までに当院で胆嚢摘出術または胆嚢垂全摘術を受けられた/受けられる方
2 研究目的・方法	当院で胆嚢摘出術または胆嚢垂全摘術を施行された患者さんを対象として、手術の難渋症例の予測に役立つ因子が見いだせないかを検討することを目的とします。これにより難渋症例に対して計画的に、胆嚢垂全摘術をはじめとした回避手術を選択できるようになる可能性があります。 研究の期間:施設院長許可(2024年5月予定)~2029年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	情報:年齢、性別、病歴、手術前の穿刺処置の有無、採血結果、CT画像、手術情報等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 鈴木大翔(研究責任者)名古屋徳洲会総合病院、外科・医師 住所:愛知県春日井市高蔵寺町北二丁目52番地 連絡先:0568-51-8711(代表)

2024年4月8日作成(第1.0版)